

WEEKLY

ツーリズムビジネス専門誌
週刊トラベルジャーナル

TRAVEL JOURNAL

Japan's No.1 Travel & Tourism Business Magazine
観光立国を支えるすべての人々に向けて

2014年8月4日発行(毎週月曜日発行)
第51巻第31号通巻2913号
1964年9月17日第三種郵便物認可



2014
8/4

訪日事業拡大の キーワード 売り上げ好調の 旅行会社に聞く



注目の事例

空間とイベント結ぶ
スペースマーケット

誌上セミナー

今日からできる120%予算達成術
最終目標が行動を変える

好評連載

視座

中村好明

(ドン・キホーテグループ
インバウンドプロジェクト責任者)

発見!海外旅行半世紀
低価格競争は誰のせい?

SCRAP

クルーズビジネスの巨大さと難しさ

高齢者大国の前線から
55歳からのハローライフ

トレンド観測

ブーム再来エナジードリンク

ナベケン流インバウンドの教科書
駅弁からEKIBENへ

ビジネスパーソンの日々雑感
鎌田智子(サクラホステル浅草支店人)

DATA

旅行業主要50社 5月の取扱状況

高齢者大国の 前線から

vol.
017

文・篠塚恭一 (SPIあ・える倶楽部代表取締役)

55歳からの ハローライフ

キ ャンピングカーの売れ行きが新車、中古車ともに好調だという。毎年、主要都市で開催されてきた展示商談会が、今年は会期を延長したり、展示ブースを増やしたりと一段と規模が拡大している。市場を後押ししているのは、リタイアをきっかけに購入を考えた団塊世代で、高齢化社会が加速するなか、新たに参入する自動車メーカーもあって、しばらくは活況が続きそうだ。

長期休暇が習慣として定着している欧米では、キャンピングカーの旅は昔から人気が高かった。特にハッピーリタイアメントが待ち遠しいという米国のシニアには、ステータスのひとつとして、定年と同時にキャンピングカーでアラスカへドライブするという計画を夫婦の夢としてよく聞かされた。終の棲家に移る前に、どうしてもしておきたいのが家族との思い出づくりの大旅行だった。

先日、NHKドラマで話題となった村上龍氏の『55歳からのハローライフ』(幻冬舎)。03年に刊行され、21世紀に生きる少年少女のバイブルとしてベストセラーとなった『13歳のハローワーク』のシニア版といえるだろう。

その第1話のタイトルが「キャンピングカー」だった。主人公は、大手家具メーカーの営業部長。昔ながらのモーレツ営業が自慢だったが、いつしかそれにも違和感を覚え、早期定年制度を使って55歳で退職した。家族も振り返らずに仕事人間として生きてきたサラリーマン人生への反省もあった。だ

から、妻孝行のためを口実に退職を決意した。ところが、妻を喜ばせようとキャンピングカーの計画を家族に告げると、成人した娘からは反対され、妻も忙しくて付き合えないという。すでに車の手付金も支払っていた。仕方なく再就職を試みるがどこもうまくいかず、不安でたまらなかった主人公の心は徐々に病んでいくという話だった。

この作品の制作がNHKで決まったときに、作り手の現場は興奮気味だったという。大河も朝ドラも、最近は若手中心の配役が続いているから、本格的な大人のドラマづくりが久しぶりにできると喜んでいたそうだ。アイドルの人気頼みのドラマ制作には、皆どこかもの足りなさを感じていた。だから、ベテランの役者を起用した大人が演じるドラマを作りたいという強い願いが、職人気質の現場にはあった。ベテランのもつ雰囲気や円熟した演技には、深い味わいや渋味など関わるスタッフは学ぶことが多い、やりがいを感じる。さまざまなプロがともに汗を流すロケの現場は、どこか旅づくりと似ていると思った。これからを担う若いスタッフにも、きっといい経験になるはずとディレクターが教えてくれた。

ドラマ制作の意図には、確かにモノは豊かな社会になったけれど、心は豊かなのだろうか、半生を顧みて得た幸せとはいったいどんなものなのか、そんな作り手からの問いかかけがある。番組はシリーズ5話のオムニバスで、いずれもひとつの役割を終えたどこにでもいそうな主人公が、これからを生きていくなきで新たな希望を見いだそうと苦悩する姿が描かれている。そのきっかけに「旅」が重要な役割をしていて、「トラベルヘルパー」も第4話に取り上げられた。

キャンピングカー市場が好調だといっても、日本での保有台数はまだ9万台程度というから、欧州の500万強、米国の1000万弱と比べれば2桁以上の差がある。生き方を変える憧れの旅が日本に定着するかどうかは、もうしばらく見守っていく必要があるようだ。



いのづか・きょういち ●91年にSPIを設立し、現職就任。95年トラベルヘルパー（外出支援専門員）の養成開始、介護旅行事業に取り組む。06年NPO法人日本トラベルヘルパー協会を設立し理事長に就く。